



質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



不適切な利用状況が依然として続く太宰府歴史スポーツ公園に関する3点伺う。



部長 ①撤去に繼續してますが、利用方法の適正化について現在のところ協議を行っていません。

②現地確認や関係機関等への相談など、できる限り当事者の特定に努めていますが、経年劣化によるものか、禁止行為によるものかを判断することまではできません。

③運動施設の占める面積は法律が定める100分の50の範囲内にあり、市民が利用できない都市公園とのご指摘には当たらないと認識しています。「市民開放日」とはスポーツ団体が多

くは小学校1年生のみ1学級35人以下、他は40人以下を定員としている。太宰府市では独自に小学校2年生までを35人定員としているが、その他の学年では、35人以下の学級も、40人ぎりぎりの学級もあるのが実情である。

少人数学級にすれば子どもたちへのきめ細やかな指導が可能となり、教員の負担軽減にも繋がる。自治体は県内もある。太宰府市としても段階的に取り組んでいくべきと考えるが、今後の見通しについて伺う。



太宰府歴史スポーツ公園

### 全質問項目

◇太宰府歴史スポーツ公園について



国は小学校1年生のみ1学級35人以下、他は40人以下を定員としている。太宰府市では独自に小学校2年生までを35人定員としているが、その他の学年では、35人以下の学級も、40人ぎりぎりの学級もあるのが実情である。

少人数学級にすれば子どもたちへのきめ細やかな指導が可能となり、教員の負担軽減にも繋がる。自治体は県内もある。太宰府市としても段階的に取り組んでいくべきと考えるが、今後の見通しについて伺う。



教育長 35人以下学級では、児童・生徒一人ひとりに目が届き、個に応じた細やかな指導を行う事が可能になります。一定の効果があると認識しており、本市でも小学校2年生まで35人以下学級としています。

少人数学級の拡大はクラス数の増加に繋がります。県下全体の教員不足、市の財政負担の増加、学校施設の整備が必要になるなど課題もありますので、課題を整理しつつ検討したいと考えます。



神武綾議員 少人数学級拡大の見通しを示せ



### 全質問項目

◇小中学校の35人以下学級の拡大について  
◇四王寺山史跡めぐり遊歩道の整備について  
◇中学校完全給食実施について

**Q** 学校教育にはさまざまな課題がある。諸外国に比べ予算是少ない。教職員数は増えない。教職員は過労死ラインを越える多忙に苦しむ。本市ではどうなのが学校教育の状況と課題について7点伺う。

①市の小中学校教育予算  
②教職員の早期退職者・病気休職者数  
③本市の不登校数、いじめ件数  
④41人以上学級数の有無  
⑤タイムカード導入で判明した教職員の超過勤務実態  
⑥教員の多忙化の要因  
⑦教職員の働き方改革は

⑤超過時間の平均は、小学校で28時間から47時間、中学校で46時間から54時間です。

⑥複数の要因が考えられ



問 德永 洋介 議員

## 学校教育の現状と課題

**A**

部長 ①小中学

校の教育費予算  
には校舎等維持管理の投資的経費と学校運営に係る経常経費があり、単純に比較はできませ

ます。  
⑦ワークライフバランスの確立を目指します。



### 全質問項目

◇学校教育の現状と課題・「教職員の働き方改革」について

**Q** 高雄交差点について伺う。

①県道筑紫野筑穂線から高雄交差点に向かう際、右折レーンはあるが、右折の矢印信号はない。そのため朝夕のラッシュ時などに渋滞を招いている。国道に通じる交差点には必ずと言っていいほど右折信号がある。早急な設置が望まれるが見解を伺う。

**A** 部長 ①右折レーンの車両にとっては対向車線の交通量が多いことから大変苦労する箇所で、影響から渋滞が発生するなど以前からその対策が望まれていることは認識しています。右折信号設置については対向車線に右折レーンがないことなどから設置が難しいと考えています。



問 坂谷川 公成 議員

## 危険が潜む交差点

**A**

部長 ①右折



### 全質問項目

◇高雄交差点について  
◇指定学校変更の許可要件について

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



問 広聴の成果を  
みんなのものに

木村 彰人 議員  
きむら あきと

**Q** 広聴活動とは、市が市民の意見を直接に収集し、分析を加えて施策に活かすものである。個々の意見に適切に回答するのは当然としても、多くの意見が偏りなく集まるように広報に努め、収集した意見を適宜分類し、府内・市内で共有できるデータベースとしていくことが大切となる。市民意識調査、市長と語る会、意見箱について、市の取り組みを伺う。

**市長** 市民から多く寄せられた意見について、最終的には予算に反映させるよう努めています。現



市民の意見箱

全質問項目

- ◇広く市民の声を集める広聴活動について
- ◇市長の選挙公約「7つのプラン」の35項目の進捗状況について

**Q** 県が行う土木工事には、市民生活に密接に関係する道路や砂防などもある。県の事業は近隣自治体にまたがるため、区間が長くなったり、複数年度におよぶことも多々ある。

道路工事などの事前説明があれば、側溝の整備をあわせてお願いしたいなど、要望を伝えられたのにという市民の声を聞いた。

県が行う土木工事の説明主体は県の担当だが、市としても周辺住民への周知について何らかの対応が必要と思う。見解を伺う。

県が行う土木工事の説明主体は県の担当だが、市としても周辺住民への周知について何らかの対応が必要と思う。見解を伺う。



問 県道だろうと  
市民にとつては道

藤井 雅之 議員  
ふじい まさゆき

全質問項目

- ◇県が行う土木工事の住民への周知について
- ◇公共施設での学習スペースの充実について



県道福岡日田線鷺田橋  
(都府楼団地郵便局付近)



質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。

③地域住民同士で支え合う関係性を育成・支援する制度を検討しているか。

②多様化する市民ニーズに即した地域づくりをどのように図っていくのか。

③地域の課題を包括的に受け止める場としての総合的相談支援体制づくりが急務。地域包括ケアシステムの構築・整備をどうするのか。

社会構造も人々の暮らしも変わり、人口減少の波は経済の担い手不足、空き家、空き店舗などとして顕在化している。そこで3点伺う。

①第三次地域福祉計画では、自助・互助・公助に加え地域の中で支え合う共助の4つを基本理念として重視しています。

#### 全質問項目

◇本市の地域共生社会について



**問** 地域共生社会の実現は

**堺剛議員**

**A 部長** 現役世代  
1・5人が65歳以上です。



**Q** 教育基本法及び学校教育法が改正され、国と地方公共団体は、障がいのある者が、その障がいの状態に応じて十分な教育を受けられるよう、教育上必要な措置を講じなければならぬ。

そこで、市内の小・中学校のエレベーターの設置状況と、今後の整備計画について伺う。

③各担当部署が個別計画に基づいて施策を進めている現状ですが、今後連携して中学校区を圏域とする包括的な支

**A 部長** 市内小・中学校11校中8校にエレベーターが設置されています。水城小学校、太宰府東小学校、太宰府東中学校が未設置です。エレベーターの未設置校において、日常的に歩行が困難な児童・生徒等が在籍している場合は、必要に応じて特別支援教育支援員を配置して、当該児童・生徒等の

学校生活をサポートするなど、その時点で可能な限りの支援を行っているところです。

今後の整備計画につきましては、学校施設の状況やインクルーシブ教育推進の観点から、必要に応じて検討していくたい

#### 全質問項目

◇学校環境の整備について  
◇災害時における授乳の支援について



**問** 学校施設のバリアフリー化を図れ

**原田久美子議員**

**A 部長** 市内小・中学校11校中8校にエレベーターが設置されています。水城小学校、太宰府東小学校、太宰府東中学校が未設置です。エレベーターの未設置校において、日常的に歩行が困難な児童・生徒等が在籍している場合は、必要に応じて特別支援教育支援員を配置して、当該児童・生徒等の



質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



**問** 市内業者支援策の充実を

**小畠 真由美 議員**



**部長** ①中小企

業等の支援策と  
して商工会とも連携し  
ています。ワンストップ  
相談窓口の設置や創  
業塾の開催なども行っ  
ています。中小企業支  
援、地域経済の振興に  
向けてさまざまな取り  
組みを行っています。



小企業、小規模事業者の  
継続的な活性化は、本市  
のまちづくり、将来に向  
けて必要不可欠な課題だ  
が、事業の承継の困難は  
その足かせとなるだろ  
う。そこで3点伺う。  
①事業者の真に求める支  
援策を把握し、支援体  
制の充実を図る必要が  
あるが、見解は。  
②ものづくり、サービス  
補助金や国の法制度の  
周知や情報提供は。  
③(仮称)中小企業振興基  
本条例の制定を行うべ  
きと考えるが見解は。  
小企業振興条例につい  
て検討していくます。

**全質問項目**

- ◇中小企業の活性化、振興政策について
- ◇高齢ドライバーへの支援策について



**問** 住みたい町への  
ビジョンを示そう

**柳原 荘一郎 議員**

①今年度で第1期太宰府市総合戦略は、その5年の期間を終える。総括と評価を伺う。

②第2期総合戦略が担う役割と他の計画との整合性、策定スケジュールについて伺う。

③本市の人口動態をみると、人口上昇はますます鈍化し予測が示す通りピークに近づきつつある。人口対策として、地方創生移住支援事業並びに、地方創生企業支援事業へ参入するのか伺う。

たは目標に向けて進展がみられます。

②国が定める4つの基本目標、産業・雇用、移住・定住、結婚・出産・子育て、地域づくり・連携に、太宰府市としての視点を加味しつつ、魅力ある地域、活力ある郷土をつくるための施策を重点的に定める予定です。専門的な知識を有する方が集まるまちづくりビジョン会議で議論を重ねています。

③なにより施策の実施状況が重要ですから、太宰府市にふさわしい中企業振興条例について検討していくます。

③本市への移住支援事業等の取組については、今後検討をしていくとともに、第1期に統合戦略に定めたKPIのうち約半数の項目で目標を達成まで

も積極的に取り組んでいます。



**全質問項目**

- ◇太宰府市総合戦略の策定について

一般質問の詳しい内容につきましては会議録をごらんください。(公民館・図書館に2月末頃に配置されます)

**Q** クラウドファンディングや返礼品の工夫などにより、本市のふるさと納税寄附額は当初の想定を上回る規模となっている。他方、ホームページに沸いた令和元年が再び訪れるることはなく、挑戦的な試みも放置すれば一過性で終わりかねない。そこで3点伺う。

①今年試みたふるさと納税の実験をどのように発展させる考えか。

②甲子園以外のスポーツや文化活動にもガバメントクラウドファンディングを用いる考え方。

③中学校給食導入のような市民に還元される事業にクラウドファンディングを用いる可能

④ふるさと納税を何に使うのか



**A** 理事 ①本市のふるさと納税をワンランク高みに上げるべく、令和発祥の都としての新たな価値を活かし、寄附者と自治体が共に喜びあい地域の発展につながる流れを全国に広めるトップランナーを目指しています。

性はあるか。

笠利毅議員  
かさりつよし  
議員

ところです。



令和記念モニュメント



## 学生との意見交換会

10代・20代の意見を伺う取組みとして、市内5大学の学生と意見交換会を行いました。4カ国の中留學生を含む27名に参加いただき、普段はなかなか接点のない学生のみなさんと議会が、太宰府のまちづくりについて意見交換を行いました。

今後も広い世代の意見を反映できる議会になるよう努めてまいります。

開催年月日 令和元年11月19日(火)18:00~

会 場 太宰府市役所5階 会議室

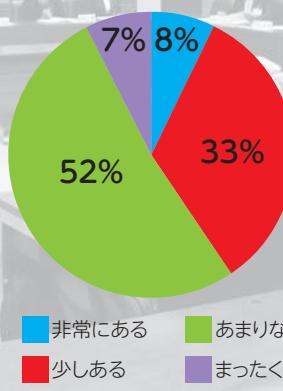
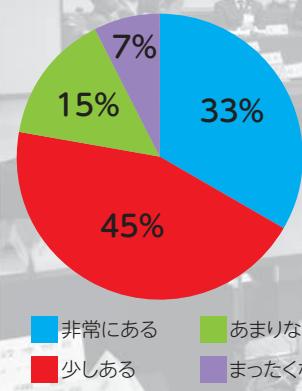
参 加 者 27名(4カ国5名の留学生を含む)

参 加 大 学 九州情報大学、筑紫女子大学、福岡こども短期大学、福岡女子短期大学、日本経済大学

●地域に関心はありますか

●市議会に関心はありますか

●参加してみていかがでしたか



●学生との意見交換の詳しい内容は→